

安倍政権の暴走に ストップの審判を土浦から

日本共産党の新人(元自衛官)
への支持を広げてください

元自衛官だからこそ
平和憲法守れと訴えています

日本共産党の新人は1981年から9年間陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地にいました。最前線の戦闘部隊に直結する後方支援部隊に所属。野外での装備品の補給、整備、回収などをする「野整備(やせいび)」を担当しました。

安倍自民・公明政権は、集団的自衛権行使容認の閣議決定(昨年7月)を具体化する一連の法案を、いつせい地方選挙後の5月の連休明けにも国会に提出し、力づくで押しとおそうとしています。



後方支援も戦場

戦争立法が成立すれば、自衛隊は海外の戦地で米軍などを「後方支援」することになります。首相は「自衛隊は戦争をしにいくのではない」「戦闘が始まったら活動を休止する」と説明しますが、元自衛官は「戦闘では前線と後方支援はまさに一体。これは自衛隊の常識です。私も部隊で実際にそう訓練してきました」と語ります。「今までは専守防衛が歯止めになって自衛のための自衛隊でした。米軍の戦争に行きたいと入隊する人はまずいない。隊員の命を預かる指揮官も突撃命令を出したくはない」「入隊時には平和憲法を遵守することを宣誓した若い自衛官を集団的自衛権行使容認で戦闘現場に送り込みたくない」と訴えています。

戦争への道か、平和への道か

地方選挙でも国民世論を具体的に表明する場です。「集団的自衛権行使反対」を否決した市議会を変えましょう。

- ◆海外で戦争する国づくり
- ◆原発再稼動・輸出
- ◆消費税大増税10%へ
- ◆法人税ゼロの大企業ゾロゾロ
- ◆残業代ゼロ法案
- ◆年金引き下げ
- ◆介護保険の利用制限
- ◆子どもの6人に1人が貧困

これでいいのか? 今の政治

国でも、市でも
日本共産党
が伸びれば政治は変わります

土浦民報

号外

2015年4月
発行:日本共産党土浦市委員会
土浦市永国851 電話(821)5778
日本共産党土浦市委員会の見解を紹介します

共産党 土浦 2015 検索

私からパ
ンタッチ
します
市議会議員
古沢喜幸

